

北はりま定住自立圏「地域医療を支える」基盤整備調査事業

自治体情報 兵庫県西脇市

人口 / 43,311人 標準財政規模 / 11,513百万円

- 担当課** ふるさと創造部企画政策課
- 電話番号** 代表 0795-22-3111
- 実施主体** 西脇市
- 関連ホームページ** <http://www.city.nishiwaki.hyogo.jp/city/browser?ActionCode=content&ContentID=1288850491449&SiteID=0>
- 事業期間** 平成24年度
- 関係施策分類** ①

予算関連データ

総事業費：2,963千円

名称	所管	金額(千円)
定住自立圏推進調査事業事務委託金	総務省	2,900
一般財源	-	63

施策のポイント

西脇市では、行政や医師会にとどまらず、「西脇小児医療を守る会」や地元商店会などの団体により地域ぐるみで地域医療を守ろうとする取組が主体的に進められている。本事業は、その取組を多可町にも拡大し、北はりま定住自立圏の圏域全体（西脇市・多可町）で地域医療を支えていこうとするものである。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

本市は、平成23年度に県内初となる「地域医療を守る条例」を制定するなど、従来から地域医療に対する住民や医師会の意識には高いものがある。

高齢者人口の増加に伴い、医療需要が増加する中で、医療資源の供給には限界があることから、圏域における効果的・効率的な医療サービスの提供体制を構築するとともに、住民の地域医療に対する理解や適正な受診行動の促進等を図り、将来にわたり安心できる地域医療体制を確保していきたいと考え、本事業を進めることとした。

2. 取組の具体的内容

- (1) 「地域医療連携会議」を設置し、圏域内で切れ目のない効果的な医療連携を推進するための協議を行う。
- (2) 圏域拠点病院である市立西脇病院において、医療従事者を対象とした研修を実施する。
- (3) 医療関係者や住民が地域医療のあり方を考える「地域医療住民フォーラム」を、多可町においても実施する。
- (4) 地区や集落単位で、医療講演会を随時実施する。
- (5) 西脇市で活動する「西脇小児医療を守る会」の活動を多可町にも拡大する。
- (6) 適正な医療行動や啓発し医療需要を軽減するため、保健サービスの内容や必要性、医療マナー等を説明したハンドブックを作成し、圏域住民に配布する。
- (7) 救急救命講習やAED講習を実施する。
- (8) 市立西脇病院や多可赤十字病院での「病院フェスタ」の開催支援を行う。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

自治体の枠組みにとらわれず、圏域全体の医療資源の有効活用を図ることで、安定的な医療サービスの提供が可能となり、地域住民の生活機能の確保に寄与できる。

4. 現在までの実績・成果

- (1) 医師会や小児医療を守る会、地元商店会等との連携のもとで「西脇病院フェスタ」を開催し、イベントを通じて地域医療の重要性を啓発した。
- (2) 市立西脇病院で、圏域の医師会会員など医療従事者を対象とした医療講演会を開催した。
- (3) その他の取組については、本年度随時実施していく。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

圏域内の医師会である「西脇市多可郡医師会」や、市立西脇病院における小児科医師の不足をきっかけに設立された、子どもを持つ母親を中心とした市民団体「西脇小児医療を守る会」、さらには地元商店会など、地域医療を守る活動を続ける団体のパワーを最大限に活用し、行政や医療機関のみならず、地域ぐるみで地域医療を守る体制を確立するという点に主眼をおいた。

6. 今後の課題と展開

本年度に実施するこれらの取組については、改善をしながらさらに発展的な展開を目指していきたいと考えている。

地域医療の確保は圏域全体で最も大きな課題の一つであり、今後も、これらの取組を通じ圏域ぐるみで地域医療を守り支える体制を確立することで、健康で安心して暮らせる圏域づくりを進めていきたい。